



防災訓練を実施しました

9月4日に、伊野地区・吾北地区・本川地区で、南海地震を想定した防災訓練を実施しました。

訓練は、地区住民、関係機関合わせて約600名の皆さんの参加のもと午前9時にJ-アラート（全国瞬時警報システム）による緊急地震速報、震度速報を吹鳴し、避難訓練、救助訓練、消火器取扱訓練、天ぷら油火災消火訓練、初期消火バケツリレー訓練、救急法訓練、要援護者南海地震に関する学習会等を実施しました。

南海大地震は今後30年以内に60%以上の確率で起こると予想され、その規模は現在のところM8・4と非常に大きな地震になるものと想定されています。また今後、東海・東南海・南海の三連動大規模地震についても想定されているところなのです。

町でも5弱から7までの震度が予測されていますので、日ごろから避難場所、避難経路、防災用品の備え等の確認



を十分行うようにしてください。最後に、ご協力いただきました各関係者の皆さんにお礼を申し上げますとともに、町民の皆さんもこの機会に今一度地震への備えについて、地域やご家庭で話し合いを行っていただきますようお願いいたします。

SIKYT(消防団危険予知訓練)

講習を受講

8月21日に伊野方面隊長以上研修会で、消防団員の安全管理についての講習を受講しました。

ここ数年、いの町消防団では公務災害は発生していませんが、全国的には毎年約1300件程度、このうち殉職事故は7〜8件発生しています。また東日本大震災では250名超の消防団員が死亡・行方不明となっています。

消防団員は、奉仕の精神で地域の防災に従事しており、消防団にとって貴重な人材であるとともに、家族にとってはかけがえのない存在です。研修では、指差し唱和、訓練前の健康確認、グループ討議及び意見発表を行いました。

研修後は、所属する分団各部で、この日学習したことを実践したいとの声もあり、実際の現場で指揮する中堅から幹部団員の安全管理意識が高まった研修となりました。



10月の
消防団行事予定
10月16日(日)
高知県消防操法大会
(高知県消防学校)

+

新入団員の紹介

新たに消防団に入団された方を紹介します。地域での消防・防災活動におけるご活躍を期待します。また、地域におきましても新入団員の消防団活動にご支援をお願いいたします。

伊野方面隊
神谷分団 吉川 隆司さん

